さん［1758 - 1831］　・・　　　　　　　　　 令和４年６月

◎自警

テキスト, 手紙

自動的に生成された説明 ダイアグラム

自動的に生成された説明

し、の、の、の、の、の［醜く卑しい人］、の、の、の、の、のをたらば、にのをすべし、「をてをせん」と。

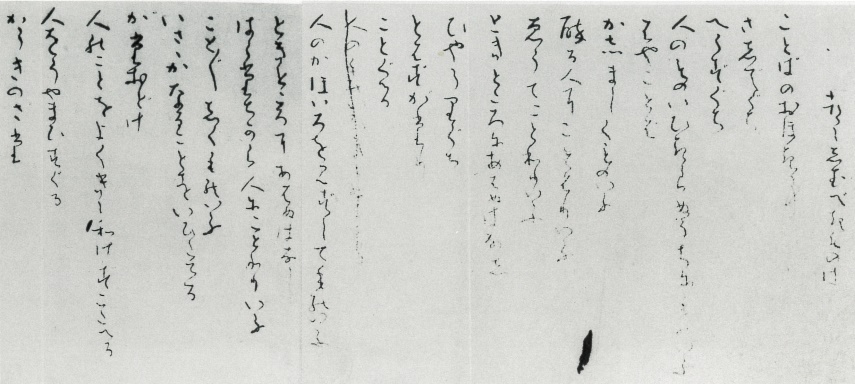
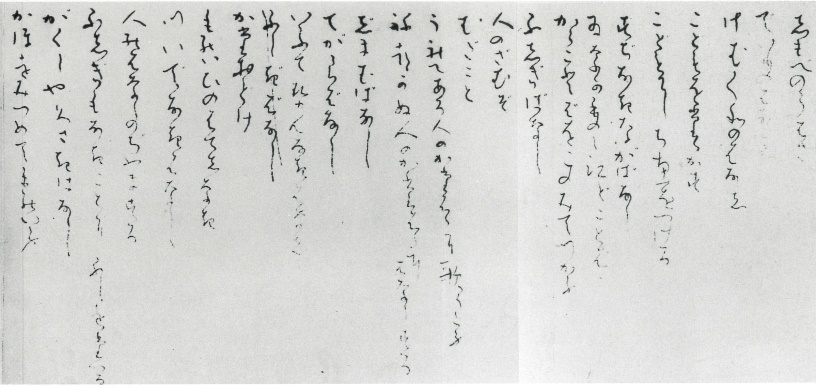
たといすることわずとも、にも、の［傲慢な心］、の［おごり高ぶる心］、の［＝嘲弄、あざけって馬鹿にする心］、の［軽んじ卑しめる心］、の［嫌い憎む心］をこすべからず。

ぎの［あわれみ悲しみ慈しむ心］をこすべし。の、しこらざれば、の［深く恥じる心］をこして、くがをむべし。

はこれをることだし。はぞ。に［そむく］するがなり。かをてしてう。

◎戒語「つつしむべきもの」（九十行）の前半

㊹ ㊸ ㊶ ㊲ ㊱ ㉟ ㉜ ㉚ ⑲ ⑰ ⑯ ⑮ ⑬ 　⑨ ⑧ ④ ①



◎愛語

文字の書かれた紙

中程度の精度で自動的に生成された説明文字の書かれた紙

低い精度で自動的に生成された説明

とはをるに、まずのをおこし、のをほどこすなり。およそのなきなり。

にはをとうあり。にはのことばあり。のあり。 のおもいをたくわえてするはなり。

あるはほむべし。なきはあわれむべし。をこのむよりは、ようやくをするなり。しかあればひごろられずえざるもするなり。ののするあいだ、このんですべし。にもならん。

をしをならしむることをとするなり。てをきくはおもてをよろこばしめ、こころをしくす。かわずしてをきくはにじにず。しるべし。はよりおこる。はをとせり。よくのらあることをすべきなり。ただをするのみにあらず。

◎戒語「つつしむべきもの」（抜粋）

つつしむべきものは　①ことばのおおき事　②さしでぐち　③へらずぐち　④人のものいいきらぬうちにものいう　⑤はやことば　⑥かしましくものいう　⑦酔る人にことわりいう　⑧ようてことわりいう　⑨ときところにあわぬはなし　⑬人のかおいろを見ずしてものいう　⑮はらたち［な］がら人にことわりいう　⑯ことごとしくものいう　⑰いささかなることをいいたてる　⑱かたおどけ　⑲人のことをよくききわけずこたえる　㉚ふしぎばなし　㉜むだごと　㉟じまんばなし　㊱てがらばなし　㊲いうてせんなきはなし　㊴ものいいのはてしなき　㊶人のはなしのじゃまする　㊸がくしゃくさきはなし　㊹かおみつめてものいう　47.やくそくのたがう　59.しらぬみちの事いう　61.たやすくやくそくする　63.病人に対してながばなしする　65.断食の人のかたわらにくいのみのはなし　66.はなしのながき事　67.よくこころえぬことを人におしうる68.おしのつよきこという　70.人のきりょうのあるなしいう　71.あくびしながらの念仏　74.人をあなどる事　75.人にへつろう事　76.にくきこころをもちて人をしかる